

太陽ホールディングス株式会社に対する 「グリーンローン」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、太陽ホールディングス株式会社（代表取締役社長：佐藤 英志、以下「太陽ホールディングス」）との間で、本日、グリーンローン（以下「本ローン」）を実行しました。

グリーンローンとは、「グリーンローン原則」(※1)に準拠し、環境課題の解決・緩和に資する事業の資金を調達するために実行されるローンです。太陽ホールディングスは、「グリーンローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に基づき、2024年1月に「グリーンローンフレームワーク」（以下「本フレームワーク」）を策定し、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）からセカンドパーティ・オピニオン（※2）を取得しています。本ローンは、同オピニオンを踏まえたグリーンローン調達です。

太陽ホールディングスは、地球規模の環境問題に真剣に取り組むことで社会に貢献していくため、自然環境に優しい再生可能エネルギーの普及促進を目的とした「エネルギー事業」を展開しています。長期経営構想「Beyond Imagination 2030」においては、「SDGs（持続可能な目標開発）への取り組み強化」を掲げており、環境負荷低減の取り組みの一環として、工場への高効率設備導入による省エネルギー化等にも取り組んでいます。

みずほ銀行は、太陽ホールディングスの環境負荷低減に向けた取り組みをファイナンス面から支援すべく、太陽ホールディングスが本フレームワークに基づき実施するグリーンプロジェクトのうち、埼玉県の大宮事業所に建設予定のCASBEE（※3）建築（新築）にて最高ランクであるSランク及びZEB Ready（※4）を取得した（又はする予定の）開発棟を対象として、本ローンを組成しました。

〈みずほ〉は、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しており、環境・社会課題解決に向けた資金の流れを創出するサステナブルファイナンスや金融を超える知見・機能を活用したソリューション提供を通じ、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に向け、お客さまとともに挑戦していきます。

<本ローンの概要>

借 入 人：太陽ホールディングス株式会社
契 約 金 額：30 億円
実 行 日：2024 年 1 月 31 日
資 金 使 途：嵐山事業所開発新棟建設に係る設備資金

(※1) グリーンローン原則：

Loan Market Association とアジア太平洋地域業界団体 Asia Pacific Loan Market Association が 2018 年 3 月に策定した環境分野に用途を限定する融資の国際ガイドライン。2018 年 12 月には The Loan Syndications and Trading Association も参画。

(※2) 株式会社格付投資情報センター (R&I) による評価レポートをご参照ください。

(<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/greenfinance/index.html>)

(※3) CASBEE (Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency)：

国土交通省が主導して開発された建築物の環境性能評価システムで、建築物それ自体の環境品質・性能に関する評価と、建築物の外部に対する環境負荷に関する評価の両面から総合的な環境性能の評価を行う制度。CASBEE 建築 (新築) は、戸建住宅を除く全ての用途の建築物を対象に、「S ランク」「A ランク」「B+ランク」「B-ランク」「C ランク」の 5 段階で評価される。

(※4) ZEB (Net Zero Energy Building)：

先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制やパッシブ技術の採用による自然エネルギーの積極的な活用、高効率な設備システムの導入等により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギー化を実現したうえで、再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した非住宅建築物。「ZEB」「Nearly ZEB」「ZEB Ready」「ZEB Oriented」の 4 段階で評価され、「ZEB Ready」は基準一次エネルギー消費量を 50%以上削減することで認証される。

以 上